

平成16年度第1四半期決算説明資料

平成16年度第1四半期決算の概要

1. 新日鉱ホールディングス連結決算の概要
2. セグメント別情報
 - <1>石油（ジャパンエナジーグループ）
 - <2>資源・金属（日鉱金属グループ）
 - <3>電子材料（日鉱マテリアルズグループ）
 - <4>金属加工（日鉱金属加工グループ）

平成16年度上期新日鉱ホールディングス連結業績予想

1. 前期との差
セグメント別情報
 - <1>石油（ジャパンエナジーグループ）
 - <2>資源・金属（日鉱金属グループ）
 - <3>電子材料（日鉱マテリアルズグループ）
 - <4>金属加工（日鉱金属加工グループ）
2. 前回発表との差

連結バランスシート、指標等

1. 連結バランスシート
2. 連結キャッシュ・フロー
3. 配当金
4. 連結有利子負債残高の推移
5. D/Eレシオ推移
6. 連結ベース設備投資額・減価償却費
7. セグメント別連結人員の推移

新日鉱ホールディングス株式会社

平成16年8月18日

業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいています。実際の業績は、様々な要因により予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

平成16年度第1四半期決算の概要

1. 新日鉱ホールディングス連結決算の概要

(単位:億円)

	16年度	15年度	第1四半期 差異
	第1Q	第1Q	
売上高	5,560	5,161	(○) 399
営業利益	210	109	(○) 101
営業外損益	28	1	(○) 28
経常利益	238	110	(○) 129
特別損益	23	50	(○) 73
法人税等	94	29	(×) 65
少数株主利益	25	6	(×) 19
当期純利益	142	25	(○) 117

(1) 対象会社

連結子会社 111社(増加19社,減少1社)
持分法適用会社 19社(増加-社,減少1社)

(2) 経常利益 238億円の内訳

営業利益 210億円
 ・石油 131億円
 ・資源・金属 40億円
 ・電子材料 30億円
 ・金属加工 33億円
 ・その他 24億円
 計 210億円

営業外損益 28億円
 ・受取利息及び配当金 8億円
 ・連結調整勘定償却額 12億円
 ・持分法による投資利益 54億円
 ・支払利息 33億円
 ・その他 13億円
 計 28億円

(3) 特別損益 23億円の内訳

・投資有価証券売却益 20億円
 ・固定資産売却益 14億円
 ・固定資産除却損 11億円
 ・構造改革関連費用 4億円
 ・その他 4億円
 計 23億円

(4) セグメント別業績

(単位：億円)

		16年度	15年度	差異
		第1Q	第1Q	
石油 ジャパンエナジー グループ	売上高	4,229	4,147	(○) 82
	営業利益	131	107	(○) 23
	経常利益	109	102	(○) 7
資源・金属 日鉱金属 グループ	売上高	949	676	(○) 274
	営業利益	40	3	(○) 37
	経常利益	93	13	(○) 80
電子材料 日鉱マテリアルズ グループ	売上高	229	162	(○) 67
	営業利益	30	1	(○) 29
	経常利益	27	6	(○) 32
金属加工 日鉱金属加工 グループ	売上高	143	106	(○) 37
	営業利益	33	16	(○) 17
	経常利益	33	16	(○) 17
その他 独立・機能会社 グループ	売上高	132	159	(×) 27
	営業利益	24	18	(×) 6
	経常利益	23	15	(×) 8
セグメント間消去	売上高	123	89	(×) 34
合計	売上高	5,560	5,161	(○) 399
	営業利益	210	109	(○) 101
	経常利益	238	110	(○) 129

各セグメントの売上高は、セグメント間の売上を含む。
消去又は全社の営業利益・経常利益は、その他を含む。

(5) 前提条件

		16年度	15年度	差異
		第1Q	第1Q	
石油 ジャパンエナジー グループ	為替レート(円/\$)	110	119	(-) 9
	原油FOB(\$/BBL)*	33.3	24.5	(+) 8.8
	パラシソ市況(\$/t)	723	525	(+) 198
資源・金属 日鉱金属 グループ	銅価(¢/lb)	127	74	(+) 53
	電気銅販売量(千t/期)	157	159	(-) 2
電子材料 日鉱マテリアルズ グループ	電解銅箔販売量(t/月)	2,777	2,479	(+) 298
	圧延銅箔販売量(千m/月)	4,077	2,535	(+) 1,542
	ITOターゲット販売量 (t/月)	19.4	10.3	(+) 9.1
金属加工 日鉱金属加工 グループ	伸銅品生産品販売量(千t/期)	10	9	(+) 1
	特殊鋼生産品販売量(千t/期)	3	3	-
	高機能材比率(%)	32%	20%	(+) 12%

*原油FOBは、ドバイスポットベース

2. セグメント別情報

<1> 石油(ジャパンエナジーグループ)

(1) 業績

(単位：億円)

	16年度	15年度	差異
	第1Q	第1Q	
売上高	4,229	4,147	(○)82
営業利益	131	107	(○)23
経常利益	109	102	(○)7

経常利益が前年同期比(○)7億円増益となった要因

- ・在庫評価の影響 (○) 93億円 (15年度第1Q: 15 16年度第1Q: 78)
- ・中計改善効果 (○) 15億円
- ・石化損益の改善 (○) 20億円
- ・タイムラグ他 (×) 104億円
- ・営業外損益 (×) 17億円

(2) 燃料油販売数量

	一般販売数量(内需) (単位：千KL)			16年度第1Q伸び率
	16年度	15年度	増減	当社
	第1Q	第1Q		
揮発油	1,568	1,505	63	104.2%
ナフサ	677	745	68	90.8%
シット	167	169	2	98.7%
灯油	417	344	73	121.3%
軽油	1,074	1,062	12	101.1%
A重油	604	469	135	128.7%
C重油	415	785	370	52.8%
燃料油	4,921	5,079	158	96.9%
自揮中間	3,663	3,380	283	108.4%

(3) 当社グループの原油処理量(万KL)およびトッパー稼働率

		H16 年度	H15 年度				
		4-6	4-6	7-9	10-12	1-3	計
グループ計	処理量	630	707	645	691	738	2,781
	稼働率	74%	84%	76%	81%	88%	82%
	対前年	89%	121%	100%	99%	100%	105%
内水島	処理量	293	263	244	232	281	1,021
	稼働率	99%	91%	84%	79%	97%	88%
	対前年	111%	101%	97%	88%	100%	96%
内鹿島	処理量	160	246	218	263	261	987
	稼働率	58%	89%	79%	95%	95%	89%
	対前年	65%	166%	96%	106%	101%	112%

グループ製油所の原油処理能力

ジャパンエナジー 水島製油所：200,200 バレル/日(注)

(注) 鹿島製油所の事故対応として、H16.5より当面の間、205,200 バレル/日へ変更

鹿島石油 鹿島製油所：190,000 バレル/日

富士石油 袖ヶ浦製油所：192,000 バレル/日

< 2 > 資源・金属(日鉱金属グループ)

(1) 業績

(単位 : 億円)

	16年度	15年度	差異
	第1Q	第1Q	
売上高	949	676	(○) 274
営業利益	40	3	(○) 37
経常利益	93	13	(○) 80

経常利益が前期比(○)80億円となった要因

- ・日鉱金属及び連結子会社(○)36億円(金属価格上昇、銅プレミアム改善等)
- ・持分法投資損益(○)44億円(ミラロパ・ランプリ()21億円(銅価上昇等)、
LG-ニコ()15億円(銅価上昇、為替差損益等)他)

(2) 価格・販売量

		16年度	15年度	差異
		第1Q	第1Q	
価格	銅価(¢ / lb)	127	74	(+) 53
	亜鉛(\$ / t)	1,027	774	(+) 253
	金(\$ / TOZ)	393	347	(+) 46
	白金(\$ / TOZ)	832	646	(+) 186
	パラジウム(\$ / TOZ)	256	169	(+) 87
販売量	電気銅(千t)	157	159	(-) 2
	亜鉛(千t)	21	21	-

< 3 > 電子材料(日鉱マテリアルズグループ)

(1) 業績

(単位 : 億円)

	1 6 年度	1 5 年度	差異
	第 1 Q	第 1 Q	
売 上 高	2 2 9	1 6 2	(○) 6 7
営 業 利 益	3 0	1	(○) 2 9
経 常 利 益	2 7	6	(○) 3 2

経常利益が前期比(○)32億円となった要因

営業利益 (○)29億円

- ・ 電解銅箔(○)3, 圧延銅箔(○)6, ターゲット材(○)16, 化合物半導体その他(○)5, 開発費等共通コスト(×)1

営業外損益 (○) 3億円

- ・ 退職年金債務償却(○)2, 為替差損益(○)1

(2) 電子材料製品別内訳

(単位 : 億円)

		1 6 年度	1 5 年度	差異
		第 1 Q	第 1 Q	
電 解 銅 箔	売 上 高	6 5	5 8	(○) 7
	営 業 利 益	6	9	(○) 3
圧 延 銅 箔 ・ タ ー ゲ ッ ト	売 上 高	1 3 5	8 1	(○) 5 4
	営 業 利 益	4 1	1 9	(○) 2 2
化 合 物 半 導 体 他	売 上 高	2 9	2 3	(○) 6
	営 業 利 益	5	9	(○) 4
合 計	売 上 高	2 2 9	1 6 2	(○) 6 7
	営 業 利 益	3 0	1	(○) 2 9

<4>金属加工（日鉱金属加工グループ）

（１）業績

（単位：億円）

	16年度	15年度	差異
	第1Q	第1Q	
売上高	143	106	(○)37
営業利益	33	16	(○)17
経常利益	33	16	(○)17

経常利益が前期比(○)1.7億円となった要因

- ・増販 (○) 1.3億円（銅箔()6,7025合金()4等）
- ・銅価上昇 (○) 1億円
- ・コスト改善等 (○) 3億円

（２）製品別売上高

（単位：億円）

		16年度	15年度	差異
		第1Q	第1Q	
伸銅品	りん青銅	35	25	(○)10
	黄銅	13	10	(○)3
	銅箔	21	12	(○)9
	その他伸銅品	21	13	(○)8
特殊鋼品	ステンレス製品	11	9	(○)2
	高ニッケル合金	17	15	(○)2
	その他特殊鋼	2	2	-
その他（精密部品加工事業等）		23	20	(○)3
合計		143	106	(○)37

平成16年度上期新日鉱ホールディングス連結業績予想

1. 前期との差

(1) 前提条件

		16年度	15年度	差異
		上期予想	上期実績	
石油 ジャパンエナジー グループ	為替レート(円/\$)	110	118	(-)8
	原油FOB(\$/BBL)*	33.9	25.5	(+)8.4
	パナシノ市況(\$/t)	729	548	(+)181
資源・金属 日鉱金属 グループ	銅価(¢/lb)	123	77	(+)46
	電気銅販売量(千t/期・年)	305	301	(+)4
電子材料 日鉱マテリアルズ グループ	電解銅箔販売量(t/月)	2,781	2,367	(+)414
	圧延銅箔販売量(km/月)	4,168	2,743	(+)1,425
	ITOターゲット販売量(t/月)	19.9	11.7	(+)8.2
金属加工 日鉱金属加工 グループ	伸銅品生産品販売量(千t/期)	20	18	(+)2
	特殊鋼生産品販売量(千t/期)	6	5	(+)1
	高機能材比率(%)	32%	20%	(+)12%

* 原油FOBは、ドバイスポットベース

(2) 業績予想

(単位：億円)

	16年度	15年度	増減
	上期予想	上期実績	
売上高	11,520	10,524	(○)996
営業利益	430	185	(○)245
経常利益	490	193	(○)297
当期純利益	145	42	(○)103
売上高経常利益率(%)	4.3%	1.8%	(○)2.5%
1株当たり当期純利益 (円/株)	17.3 (17.3)	6.1 (4.9)	((+)12.4)

16年度上期1株当たり予想当期純利益は、本年8月上旬に売出した自己株式(160,166千株)の影響を織込んで算定しています。

15年度上期1株当たり当期純利益の()は自己株式を含めて算出しています。

(3) セグメント別業績予想

(単位：億円)

		16年度 上期予想	15年度 上期実績	差異
石油 ジャパンエナジー グループ	売上高	8,860	8,308	(○)552
	営業利益	275	154	(○)121
	経常利益	240	146	(○)94
資源・金属 日鉱金属 グループ	売上高	1,805	1,432	(○)373
	営業利益	64	11	(○)53
	経常利益	175	51	(○)124
電子材料 日鉱マテリアルズ グループ	売上高	475	371	(○)104
	営業利益	63	13	(○)76
	経常利益	55	35	(○)90
金属加工 日鉱金属加工 グループ	売上高	300	222	(○)78
	営業利益	53	28	(○)25
	経常利益	52	27	(○)25
その他 独立・機能会社 グループ	売上高	300	367	(×)67
	営業利益	25	5	(×)30
	経常利益	32	5	(×)37
セグメント間消去	売上高	220	176	(×)44
合計	売上高	11,520	10,524	(○)996
	営業利益	430	185	(○)245
	経常利益	490	193	(○)297

各セグメントの売上高は、セグメント間の売上を含む。

(4) 16/上 対 15/上 経常利益差異説明

	16/上	15/上	差異	経常利益差異説明
石油 ジャパンエナジー グループ	240	146	()94	電力向けC重油の減販、タイムラグによるマージン悪化はあるが、在庫評価益の発生、石化損益の改善等により()94億円の増益。
資源・金属 日鉱金属 グループ	175	51	()124	日鉱金属及び連結子会社(○)46億円 為替円高、買鉱条件の悪化はあるが、金属価格の上昇、銅プレミアムの改善、棚卸計算方法の変更等により(○)46億円の増益 持分法投資損益(○)78億円 ミナソハ・ラングリス()50億円(銅価上昇) LG-ニコ()8億円(為替差益の増、銅価上昇) ジェコ等の増益により(○)78億円の増益
電子材料 日鉱マテリアルズ グループ	55	35	()90	電解銅箔、圧延銅箔、ターゲット材の増販に加え、在庫評価方法の変更等により、()90億円の改善。
金属加工 日鉱金属加工 グループ	52	27	()25	IT関連向け、箔・高機能材製品の増販
その他 独立・機能会社 グループ	32	5	(×)37	株エーエム・ピーエム・ジャパンの減益等
合計	490	193	()297	

(5)セグメント別情報

<1>石油(ジャパンエナジーグループ)

(1)業績予想

(単位：億円)

	16年度上期予想	15年度上期実績	差異
売上高	8,860	8,308	(○)552
営業利益	275	154	(○)121
経常利益	240	146	(○)94

(2)燃料油販売数量

	一般販売数量(内需) (単位：千KL)			16年度上期 伸び率 当社
	16年度 上期予想	15年度 上期実績	増減	
揮発油	3,296	3,169	(+)127	104.0%
ナフサ	1,503	1,515	(-)12	99.2%
シット	361	367	(-)6	98.4%
灯油	709	649	(+)60	109.4%
軽油	2,166	2,165	(+)1	100.0%
A重油	1,158	937	(+)221	123.6%
C重油	1,061	1,260	(-)199	84.2%
燃料油	10,254	10,062	(+)192	101.9%
自揮中間	7,329	6,920	(+)409	105.9%

(3)SS店舗数の推移

	10/3末	11/3末	12/3末	13/3末	14/3末	15/3末	16/3末
社有SS (内社SS)	1,489	1,406	1,377	1,328	1,284 (105)	1,229 (227)	1,207 (264)
自己SS (内社SS)	4,590	3,811	3,575	3,318	3,192 (59)	3,067 (95)	2,943 (121)
SS計 (内社SS)	6,079	5,217	4,952	4,646	4,476 (164)	4,296 (322)	4,150 (385)

(4)石化損益推移

(単位：億円)

16年度上期予想	15年度上期実績	差異
85	35	(○)50

< 2 > 資源・金属(日鉱金属グループ)

(1) 業績予想

(単位 : 億円)

	16年度上期予想	15年度上期実績	差異
売上高	1,805	1,432	(○) 373
営業利益	64	11	(○) 53
経常利益	175	51	(○) 124

(2) 価格・販売量

		16年度上期予想	15年度上期実績	差異
価格	銅価 (¢ / lb)	123	77	(+) 46
	亜鉛 (\$ / t)	1,014	797	(+) 217
	金 (\$ / TOZ)	392	355	(+) 37
	白金 (\$ / TOZ)	816	669	(+) 147
	パラジウム (\$ / TOZ)	238	179	(+) 59
販売量	電気銅 (千 t)	305	301	(+) 4
	亜鉛 (千 t)	43	41	(+) 2

< 3 > 電子材料(日鉱マテリアルズグループ)

(1) 業績予想

(単位 : 億円)

	1 6 年度上期予想	1 5 年度上期実績	差 異
売 上 高	4 7 5	3 7 1	(○) 1 0 4
営 業 利 益	6 3	1 3	(○) 7 6
経 常 利 益	5 5	3 5	(○) 9 0

(2) 電子材料製品別内訳

(単位 : 億円)

		1 6 年度上期予想	1 5 年度上期実績	差 異
電 解 銅 箔	売 上 高	1 3 7	* 1 3 4	(○) 3
	営 業 利 益	1 2	* 3 5	(○) 2 3
圧 延 銅 箔 ・ タ ー ゲ ッ ト	売 上 高	2 8 4	1 8 0	(○) 1 0 4
	営 業 利 益	8 8	4 0	(○) 4 8
化 合 物 半 導 体 他	売 上 高	5 4	5 7	(×) 3
	営 業 利 益	1 3	1 8	(○) 5
合 計	売 上 高	4 7 5	3 7 1	(○) 1 0 4
	営 業 利 益	6 3	1 3	(○) 7 6

* 15年度電解銅箔：上期はG E I (1月 ~ 9月)。

<4>金属加工（日鉱金属加工グループ）

（１）業績

（単位：億円）

	16年度上期予想	15年度上期実績	差異
売上高	300	222	(○)78
営業利益	53	28	(○)25
経常利益	52	27	(○)25

（２）製品別売上高

（単位：億円）

		16年度上期予想	15年度上期実績	増減
伸銅品	りん青銅	68	53	(○)15
	黄銅	24	21	(○)3
	銅箔	40	26	(○)14
	その他伸銅品	44	27	(○)17
特殊鋼品	ステンレス製品	23	18	(○)5
	高ニッケル合金	33	28	(○)5
	その他特殊鋼	2	2	-
その他（精密部品加工事業等）		66	47	(○)19
合計		300	222	(○)78

2. 前回発表との差

(1) 前提条件

		16年度上期予想		
		今回	前回(7/9)	差異
石油 ジャパンエナジー グループ	為替レート(円/\$)	110	108	(+) 2
	原油FOB(\$/BBL)*	33.9	32.7	(+) 1.2
	ロシア市場(\$/t)	729	720	(+) 9
資源・金属 日鉱金属 グループ	銅価(¢/lb)	123	123	-
	電気銅販売量(千t/期・年)	305	305	-
電子材料 日鉱マテリアルズ グループ	電解銅箔販売量(t/月)	2,781	2,845	(-) 64
	圧延銅箔販売量(千m/月)	4,168	3,980	(+) 188
	ITOターゲット販売量(t/月)	19.9	19.5	(+) 0.4
金属加工 日鉱金属加工 グループ	伸銅品生産品販売量(千t/期)	20	20	-
	特殊鋼生産品販売量(千t/期)	6	5	(+) 1
	高機能材比率(%)	32%	32%	-

* 原油FOBは、ドバイスポットベース

(2) 業績予想

(単位: 億円)

	16年度上期予想		
	今回	前回(7/9)	差異
売上高	11,520	11,270	(○) 250
営業利益	430	340	(○) 90
経常利益	490	390	(○) 100
当期純利益	145	90	(○) 55
売上高経常利益率(%)	4.3%	3.5%	(○) 0.8%
1株当たり当期純利益 (円/株)	17.3	10.7	(○) 6.6

1株当たり予想当期純利益は、本年8月上旬に売出した自己株式(160,166千株)の影響を織込んで算定しています。

(3) セグメント別業績予想

(単位：億円)

		16年度上期予想		
		今回	前回(7/9)	差異
石油 ジャパンエナジー グループ	売上高	8,860	8,650	(○)210
	営業利益	275	190	(○)85
	経常利益	240	150	(○)90
資源・金属 日鉱金属 グループ	売上高	1,805	1,735	(○)70
	営業利益	64	57	(○)7
	経常利益	175	160	(○)15
電子材料 日鉱マテリアルズ グループ	売上高	475	455	(○)20
	営業利益	63	43	(○)20
	経常利益	55	35	(○)20
金属加工 日鉱金属加工 グループ	売上高	300	295	(○)5
	営業利益	53	51	(○)2
	経常利益	52	50	(○)2
その他 独立・機能会社 グループ	売上高	300	305	(×)5
	営業利益	25	2	(×)23
	経常利益	32	5	(×)27
セグメント間消去	売上高	220	170	(×)50
合計	売上高	11,520	11,270	(○)250
	営業利益	430	340	(○)90
	経常利益	490	390	(○)100

各セグメントの売上高は、セグメント間の売上を含む。

16年度上期経常利益差異比較説明

	今回	前回	差異	経常利益差異説明
石油 ジャパンエナジー グループ	240	150	()90	マージン改善、在庫評価益の増、石化損益の改善等により(○)90億円の増益
資源・金属 日鉱金属 グループ	175	160	()15	持分法適用会社の増益、銅プレミアムの改善等により(○)15億円の増益
電子材料 日鉱マテリアルズ グループ	55	35	()20	圧延銅箔、ターゲット材の増販、マージン改善等により(○)20億円の増益
金属加工 日鉱金属加工 グループ	52	50	()2	IT関連向け箔・高機能材製品の増販等による増益
その他 独立・機能会社グループ	32	5	(×)27	(株)イーエム・ピーエム・ジャパンの損失増等
合計	490	390	()100	

連結バランスシート, キャッシュ・フロー, 指標等

1. 連結バランスシート

(単位: 億円)

	16/6 末	16/3 末	16 年度 第 1Q 増減	16/9 末(予想)	16 年度上期 増減(予想)
流動資産	5,963	5,988	(-) 26	15,650	(-) 75
固定資産	9,956	9,737	(+) 219	15,650	(-) 75
総資産	15,919	15,725	(+) 194	15,650	(-) 75
流動負債	7,516	7,513	(+) 3	12,090	(-) 907
固定負債	5,553	5,484	(+) 68	12,090	(-) 907
少数株主持分	405	391	(+) 15	430	(+) 39
株主資本	2,445	2,337	(+) 108	3,130	(+) 793
株主資本比率	15.4%	14.9%	(+) 0.5%	20.0%	(+)5.1%
1 株当たり株主資本	288 円 20 銭	275 円 49 銭	(+)12 円 71 銭	368 円 90 銭	(+) 93 円 41 銭
有利子負債	8,160	7,540	(+) 620	7,160	(-) 380

(注) 1 株当たり株主資本は、発行済株式総数 848,462 千株で算出

主な項目の 16 年度第 1 四半期増減要因

資産 (+) 194	現金及び現金同等物 (-) 210、 売掛債権 (-) 178、たな卸資産 (+) 428、 有形・無形固定資産 (+) 266 (設備投資 (+) 89、減価償却 (-) 117、 新規連結の影響 (+) 316 他)、投融資支出 (+) 43、 新規連結に伴う投融資消去 (-) 90、その他 (-) 65
負債 (+) 71	有利子負債 (+) 620(うち新規連結の影響 (+) 264)、 買掛債務 (-) 361(うち前期末休日の影響 (-) 156)、 法人税等の支払額 (-) 129、その他 (-) 59
少数株主持分 (+) 15	
株主資本 (+) 108	当期純利益 (+) 142、配当金支払 (-) 41、その他 (+) 7

主な項目の 16 年度上期増減(予想) 要因

資産 (-) 75	現金及び現金同等物 (-) 143、売掛債権・たな卸資産 (+) 485、 設備投資 (+) 290、減価償却 (-) 240、投融資支出 (+) 53、 その他(固定資産・投融資処分、連結範囲の変更等)(-) 520
負債 (-) 907	有利子負債 (-) 380、買掛債務 (-) 151、 法人税等の支払額 (-) 129、その他(連結範囲の変更等)(-) 247
少数株主持分 (+) 39	
株主資本 (+) 793	当期純利益 (+) 145、配当金支払 (-) 41、 自己株式売却 (+) 713、その他有価証券評価差額金等 (-) 24

自己株式売出しに関連して、今後 8 百万株を追加売却する可能性があります。上記にはこの売却額は織込んでおりません。

2. 連結キャッシュ・フロー

(単位：億円)

	15年度 実績	16年度第1Q 実績
営業活動によるキャッシュ・フロー	(+) 1,062	(-) 467
投資活動によるキャッシュ・フロー	(+) 45	(-) 61
財務活動によるキャッシュ・フロー	(-) 1,158	(+) 290
為替換算差額	(-) 10	(-) 0
現金及び現金同等物の増減額	(-) 61	(-) 238

16年第1四半期実績の内訳

営業活動によるキャッシュ・フロー (-) 467

経常利益 (+) 238、減価償却費 (+) 117、持分法投資損益 (-) 54、

売上債権・たな卸資産・仕入債務 (-) 589、法人税等支払 (-) 129、その他 (-) 50

投資活動によるキャッシュ・フロー (-) 61

設備投資支出 (-) 101、投融資支出 (-) 43、投融資回収 (+) 62、その他 (+) 21

財務活動によるキャッシュ・フロー (+) 290

有利子負債増加 (+) 354、配当金支払 (-) 41、その他 (-) 23

3. 配当金

15年度実績				16年度(予想)			
中間	期末	年間	配当金総額	中間	期末	年間	配当金総額
円 銭	円 銭	円 銭	百万円	円 銭	円 銭	円 銭	百万円
- -	6 00	6 00	4,079	- -	8 00	8 00	6,720

(注) 16年度予想配当金総額は、本年8月の自己株式売出し(160,166千株)による影響を織り込んで算定している。

4. 連結有利子負債残高の推移

(単位：億円)

	16/3末	16/6末	対16/3増減
新日鉱ホールディングス	604	585	(-) 19
ジャパンエナジー	2,958	3,109	(+) 151
鹿島石油	1,030	1,191	(+) 161
日鉱金属	1,193	596	(-) 597
日鉱マテリアルズ	573	660	(+) 87
日鉱金属加工	260	254	(-) 6
その他及び消去	922	1,765	(+) 843
合計	7,540	8,160	(+) 620
対14/3末(8,928億円)削減累計額	(-) 1,388	(-) 768	

5. DEレシオ推移

(単位：億円)

	14/3末	15/3末	16/3末	16/6末	累計増減	16/9末予想
有利子負債	8,928	8,764	7,540	8,160	(-) 768	7,160
株主資本	1,815	2,049	2,337	2,445	(+) 630	3,130
DEレシオ	4.92	4.28	3.23	3.34	(-) 1.58	2.29

6. 連結ベース設備投資額・減価償却費

(単位：億円)

	15年度実績	16/1Q実績
設備投資額	316	89
減価償却費	459	117
差引	(-) 143	(-) 28

7. セグメント別連結人員の推移

(単位：人)

	H14/3末	H15/3末	H16/3末
石油 (ジャパソエナジーグループ)	5,007	4,447	4,254
資源・金属 (日鉱金属グループ)	2,579	2,604	1,471
電子材料 (日鉱マテリアルズグループ)	1,765	1,574	1,622
金属加工 (日鉱金属加工グループ)			1,149
その他 (独立・機能会社グループ)	1,563	1,758	1,362
計	10,914	10,383	9,858

(注) 当社はその他に含む。H15/3末迄は資源・金属に金属加工分を含む。